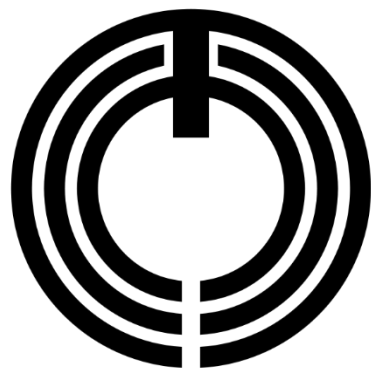




平塚市・川崎市中原区コラボ 中原御殿と中原街道



展示期間 令和4年9月2日～9月29日

◎ 平塚市中原・ ◎ 川崎市中原区 地名の由来

平塚市中原は、大永元年（1521）小田原城主大森氏の臣が草原を開拓し「中原」と称したと伝えられています。

「中原」は「原の中央的位置」の意味もありますが、「地域の指導的な所」（中国大陸の「ちゅうげん」）という意味での「中原」ではないか、という説があります。

江戸時代、徳川家康が江戸と中原をつなぐ街道を整備し中原街道ができました。川崎市中原区は、この中原街道を区名の由来としています。

中原御殿と中原街道

中原御殿は、徳川家康が鷹狩りの宿として、また政治の場として利用した宿所です。それまで休息所であった豊田本郷村の清雲寺が洪水被害にあい、砂丘上の中原に造営されたと考えられています：慶長元年（1596）。現在、中原御殿跡の大部分は中原小学校の校地となっています。

東海道と並行し、江戸城から中原をほぼ直線で結ぶ道が中原街道です。中原で醸造された酢が献上されたことから、「御酢街道」とも呼ばれています。

平塚の地名の由来を調べるには？



『平塚市郷土誌事典』 平塚市企画室市史編さん室／編 (1976)

平塚のことを調べるならまずはこの事典から。

『平塚市地名誌事典 改訂』 小川治良／著 (2011)

平塚の地名についてまとめられた事典。頼りになります。

『平塚の地誌』 井出栄二／著 (1985)

平塚の地理を調べるにはこの本。

『角川日本地名大辞典』 角川日本地名大辞典編纂委員会／編 (1984)

神奈川県は14巻です。

おすすめ図書

『ひらつかの家康伝説 由緒と地域』 早田旅人／執筆・編集，平塚市博物館（2016）

家康と平塚の縁がしのばれる、たくさんの資料が解説されています。

『中原街道を往く 江戸虎ノ門から中原御殿まで』 今泉義廣／著，稲元屋（2008）

東京虎ノ門から大磯化粧坂まで、地図と写真を追って旅をしてみませんか。

『むかしばなし 平塚ものがたり 続』 今泉義廣／著，小牧宗太／画，稲元屋（1991）

善徳寺の山門は、中原御殿の門だと伝えられています。（「中原御殿の門」）